

平成24年度 第2回

議会報告会を開催

市民参加型議会を目指し、市内12カ所で平成24年度第2回の議会報告会を開催しました。平成23年度の決算報告や議会改革への取組み等を報告の後、質疑応答や自由な意見交換を行い、多くの市民の皆さんの声を聞くことができました。

実施日	実施会場	住 所	参加人数
1 1月17日	開発センター物部	物部町大栃	6名
1 1月18日	楠目老人憩いの家	土佐山田町楠目	32名
1 1月18日	基幹集落センター	香北町美良布	15名
1 1月19日	平山公民館	土佐山田町平山	8名
1 1月20日	中野公民館	土佐山田町中野	4名
1 1月20日	暁霞公民館	香北町五百蔵	10名
1 1月20日	猪野々集会所	香北町猪野々	21名
1 1月22日	繁藤老人憩いの家	土佐山田町繁藤	21名
1 1月23日	佐岡公民館	土佐山田町佐岡	4名
1 2月 1日	香美市役所	土佐山田町宝町	12名
1 2月23日	体験実習館	物部町別府	14名
1 2月23日	庄谷相多目的集会所	物部町庄谷相	17名

本議会をライブ中継や録画で見れます。

「香美市公式ホームページ」から「議会情報」をお選びいただき、「議会中継（外部リンク）」をクリックしてください。

<http://www.discussvision.net/kamisi/index.html>

意見交換

Q&A

※一部抜粋して掲載します

Q 議会報告会以外で議員と市民が意見交換や要望ができる機会を持つてほしい。どこに申入れすればいいのか

A 要望があれば出向くことは可能である。議会事務局に申入れてほしい。

Q 公共施設において国産材の使用に対する取組みは。

A 香北支所は、木造建築で計画している。また、本庁舎や保育所など市有木を使用し、木材使用の推進に取組んでいる。

Q 地域の過疎化に歯止めがかからない状況を改善するには、更なる行政支援が必要ではないか。

A 県も空き家対策など、過疎化に歯止めをかけるよう取組んでいる。

る。地域ぐるみで知恵を出しあいながら活性化に向けて取組んでいく。

Q オスプレイの意見書に対する賛否が同数となり、議長採決に至った経緯は。

A 日米安保を踏まえ協調路線をとる立場の意見や、地域住民の不安をおおる飛行訓練は阻止するべきとの意見があった。

Q 本市独自のカラー

A 県下の市の中では、土佐市と香美市が上位で健全とされている。



楠目老人憩いの家（土佐山田町楠目）

を示すなど、潜在的な利点や力が発揮されていないのでは。

A 皆さんの貴重な意見を行政につなげていく。

Q 市の財政において、貯金と借金、また、後年度に算入される金額を見ると、実質は約40億円の余裕があるが、他の市と比較して本市の状況は。

A 面でも立地条件でも

Q 土佐山田は、防災

A 有利であるが、市街化調整区域のため家が建てられない状況にある。議会でも都市計画の改革に取組んでほしい。

A 議会の中に特別委員会を設置し、調査研究する予定である。議会だより等でお知らせしていく。

Q 施設を建て替えるのも必要だろうが、もつと人を増やす政策を。

A もつともな意見だが、耐震の問題があるので、建て替えは急がれる。

Q 光回線を急いでほしい。

A 先進地において、維持管理に大幅な赤字を出している。国の助成の方法も変わってきた。実現に向けて担当課も真剣に検討している。

Q 議員の本会議への出席率は。

A ほぼ100%である。慶弔・病気の欠席はある。

Q 75歳以上が無料となっている市バスについては、沿線の市民だけが得しており不公平感が著しい。

A 地域交通検討委員会において総合的に検討しており、間もなく案が出る予定だ。

Q 税金の滞納者は、増減は。

A 徴収専門に担当す

Q 山間地は、地震時に道路が寸断する恐れがある。対策を考えているか。

A ヘリポートの整備が必要である。国にも要望している。

Q サルによる農作物への被害で困っている。

A 予算も増額して取組んでいる。現状を執行部に繋いでいく。

Q 陳情や承認や議案等、いろいろ言葉があるが簡単に説明を願いたい。

A 陳情と請願は、市民から議会に提出されるもので、請願には紹介議員が必要であり、表現は悪いが陳情よりも格が上である。議案、承認、同意は執行部から議会に提出されるも



佐岡公民館（土佐山田町佐岡）



開発センター物部（物部町大栃）

Q 日常的に議員活動に
A 例年予算を計上し、計画的に進めている。

Q 地籍調査を進めてほしい。
A 議員の姿があまり見えないとの指摘もあるが、調査研究や自己研鑽、会派の勉強会などもあり、市民との対話が十分に取れない場合もある。

ついて、個々の議員はどのような活動を行っているのか。
A 議員の姿があまり見えないとの指摘もあるが、調査研究や自己研鑽、会派の勉強会などもあり、市民との対話が十分に取れない場合もある。

- ・もう少し市民が集まるようお互いに考えよう。
- ・困難な時期、何をやっても明るい見通しはないと思いますが、前向きな努力を。
- ・議員、議会が身近に感じられた。
- ・審査案件の内容をもっと詳しく知りたかった。
- ・もっと勉強してください。
- ・市を上げてUターン、Iターンを推進してください。
- ・今後、できるだけ細やかな開催をお願いします。
- ・前回よりも面白かった。次回が楽しみです。
- ・本市独自の行政、スピード感を持って。
- ・限界集落はどうなる。
- ・住みやすいまちづくり、集落づくりの出来る人を育てる政策を。

- ・農林業の先進地を目指せ。
- ・グループ討議の形式で意見交換しては。
- ・専門的な部分は分かりにくいですが、度々こうした場に参加すれば理解できるのではと思います。

- ・議員は各戸をまわり、市民の意見を聞くくらいの意気込みでやってほしい。
- ・市民の意見要望に対し、市職員の対応が悪い（合併後特に）
- ・山間地域の切り捨てをしないように。



基幹集落センター（香北町美良布）

いただいたコメント

ご参加いただいた皆さんへ

今回の報告会にご参加いただいた164名の皆さん、誠にありがとうございました。皆さんからいただいた貴重なご意見やご要望については、所管の常任委員会で調査のうえ、執行部につなぎ、質問された方に直接ご返答いたします。